

クリーンな明かり点灯 拍手

伏見の障害者施設「おひさま発電所」完成

「おひさま発電所」の点灯式で、施設利用者が手作りした装飾品に明かりがともされた(京都市伏見区・障がい者地域共生拠点「アイマシン」)



京都市伏見区の障がい者地域共生拠点「アイマシン」に市民の寄付金で設置した太陽光発電施設「おひさま発電所」の普及を図る認定NPO

再生可能エネルギー

14日、点灯式が行われ

「ま発電所」が完成し、

O法人「きょうとクリンファンダ」(下京区)が一般市民から寄付を募り、2001年から同様の「おひさま発電所」を京都府内の各所で設置している。すでに幼稚園や福祉施設など20カ所で発電所が稼働し、クリーンエネルギーが使われている。

今回も約160万円が集まり、この寄付金を活用して、施設の屋根に縦約100センチ、横約130センチのソーラーパネル48枚を取り付けた。一般家庭2、3世帯が使用する電力が得られるという。

点灯式で施設利用者

が手作りした装飾品に明かりがともされると、大きな拍手がわいた。(山口愛実)